

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	舞踊	種目	現代舞踊
----	----	----	------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	C区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	無	応募総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	ごうどうがいしゃ ぜったいてき		団体ウェブサイトURL
	合同会社 絶対的		https://www.tomococafe.com
代表者職・氏名	代表社員・川口智子		
制作団体所在地	〒 177-0053	最寄り駅(バス停)	北裏(関東バス)
	東京都練馬区関町南4-18-2-306		
電話番号	090-1530-5741		
ふりがな 公演団体名	ごうどうがいしゃ ぜったいてき		団体ウェブサイトURL
	合同会社 絶対的		https://www.tomococafe.com
代表者職・氏名	代表社員・川口智子		
公演団体所在地	〒 177-0053	最寄り駅(バス停)	北裏(関東バス)
	東京都練馬区関町南4-18-2-306		
制作団体 設立年月	2019年7月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表社員・川口智子 会計監査・中村陽一		構成員の数 1名 加入条件:総社員の同意の後、定款を変更する
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	中條玲/本事業の委託
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	中村陽一
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	info.tomococafe@gmail.com		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>【団体設立の目的と沿革】 ○目的 1) 演劇、舞踊、音楽、伝統芸能、美術、映像など、ジャンルの違いを超えた新しい表現を探求し、上演活動として実践・発信を行う。 2) 国際的なネットワークを構築し、海外アーティストや団体とのコラボレーションを行う。 3) 制作した作品をレパートリーとして国内外で再演する。</p> <p>○沿革 団体の代表を務める川口智子の企画作品上演にあたり、より活動の幅を広げ、継続的な活動を行うことを保障するために法人を設立した。2019年8月のイギリスでのレジデンス型製作より、本社の主催としての活動を始めた。2020年の新型コロナウイルスの世界的感染拡大を受けて延期となった海外での活動は2022年5月のイギリス・コロネット劇場での上演活動を機に再会。国内では自治体や公共ホール等との協働で地域の市民や子どもたちを対象にした上演活動やワークショップ等の活動も行っている。主な活動に、多摩市市制50周年記念事業『たまたまモンスター in 多摩市』(2022年、事業企画・運営)、くにたちオペラ『あの町は今日もお祭り』(2022年、川口智子への演出委託事業)、いわきアリオス『おでかけアリオス』(2024年、川口智子への派遣委託事業)など。</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>【制作団体としての活動実績】 令和4年7月 東京都多摩市児童青少年課の委託により『たまたまモンスターin多摩市』を実施(市内小学生を対象としたワークショップおよび発表会) 令和6年6月～9月 いわき市内小中学校6校にアウトリーチ活動(いわきアリオス芸術館主催「おでかけアリオス」プログラム)／影絵小公演とワークショップの実施</p> <p>【所属アーティストの活動実績】 ※巡回公演実績・9月30日時点、予定を含む 令和4(2022)年度 音楽劇『太陽のタネ』小学校5校、養護学校(中)1校 令和5(2023)年度 音楽劇『太陽のタネ』小学校6校、養護学校(中)1校 令和6(2024)年度 音楽劇『太陽のタネ』小学校2校、中学校1校</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>【制作団体としての活動実績】 令和6年 6月 いわき市内の児童を対象にしたチャレンジホーム(いわきアリオス芸術館主催「おでかけアリオス」プログラム)／影絵小公演とワークショップの実施</p> <p>【所属アーティストの活動実績】 ※巡回公演実績・9月30日時点、予定を含む 令和4(2022)年度 音楽劇『太陽のタネ』養護学校(中)1校 令和5(2023)年度 音楽劇『太陽のタネ』養護学校(中)1校</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>前半</p>	<p>https://youtu.be/EPD9eHfFIVl</p>
		<p>後半</p>	<p>https://youtu.be/tPsQcOHiocA</p>
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p>なし</p>
		<p>PW:</p>	<p>なし</p>

別添	なし
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 合同会社 絶対的 】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	『海のツブ』			
企画のねらい	大海原を冒険する少年の旅を通して、子どもたちに「必ず誰かが待っていてくれるよ」というメッセージを届ける作品です。ひとりのダンサーが子どもたちと直接関係性をつくりながら物語を進めることで、子どもたちの芸術体験をより身近なものにします。仕掛けのある小道具が海の事象を描きます。科学的な面白さを刺激するとともに、温暖化や海洋環境の課題を想起させる場面もあり、学校での学習を活かしながら芸術に触れる・芸術を理解する機会を提供します。制作に携わったアーティストがワークショップを実施し、子どもたちが直接アーティストと触れる機会をつくります。			
演目概要・演目選択理由	ダンサーが言葉を使わずに物語を進める作品です。出演者はひとり、仕込み・ワークショップの人員も併せて合計6人でツアーを行うため、コンパクトに公演とワークショップを行うことができます。独自の客席を持ち込み、体育館を仮説の劇場にするため、学校の規模や体育館の条件に左右されず、作品の質を保ったツアーを行うことができます。言葉のない作品で、視覚的な刺激もたくさんある作品なので、主に聴覚障害を持つ子どもでも同じように楽しめます。そのほかの障害を持つ子どもたちにも鑑賞をお薦めすることができます。			
児童・生徒の参加又は体験の形態	ワークショップ実施時間に、深海の生物たちをモチーフにして子どもたちと共に場面をつくります。本番では、主演ダンサーと共演する形で場면을演じてもらいます。公演全体が子どもたちとの掛け合いで行われる演出になっているため、ワークショップに参加していない子どもたちも積極的に鑑賞することができます。			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	最大20人	
		鑑賞人数目安	最大80人	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	作・演出・美術:川口智子(演出家) 振付・出演:熊谷拓明(ダンサー、振付家) 美術製作:野畑太陽(アート・ディレクター) 照明:横原由祐(舞台照明家) 制作:合同会社絶対的、踊る『熊谷拓明』カンパニー 【あらすじ】 1通の手紙が入ったガラス瓶。その瓶を船にして少年は大海原へと出発する。最初にてであったのは航海を祝福してくれる古代の魚。それからカラフルなカメに踊るクラゲ、夜の海には嵐が来たり、氷山の氷が溶けだしたり！やがてたどり着く先に少年を出迎えてくれるのは・・・？ 公演時間 50 分			
出演者	熊谷拓明(くまがい・ひろあき) / 踊る『熊谷拓明』カンパニー主宰、振付家、ダンサー 1979年札幌生まれ。2008年～2011年、世界的に有名なカナダ発のエンターテインメント集団シルク・ドゥ・ソレイユのアメリカ合衆国ラスベガス公演『believe』に出演。3年間で同作の850回のステージに立つ。帰国後、自ら作、演出、振付を手掛ける作品を『ダンス劇』と呼び、独特のゆるい台詞としなやかな動きで物語を繰り広げる作品を数多く発表。近年の作品に「ダンス劇『マリーの夢』(神奈川県ホール主催・2023年)、「YohaS ダンス劇」(一般社団法人千葉公園YohaS振興会・2023年)など。			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	川口智子(かわぐち・ともこ) / 演出家 1983年生まれ。地域のホールや自治体と協働し、子どもから大人までが参加できる市民参加型の作品制作を多数行う。近年の演出作品に『あの町は今日もお祭り』(2022年東京都)、ミュージカル『回転木馬』(2023年三重県)、「まちクラ」(2021年北九州未来創造芸術祭)など。海外アーティストとのコラボレーションや国外での公演・ワークショップ実績も多数。			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 1 名	運搬	積載量: 0.1 t	
	スタッフ: 5 名		車長: 5 m	
	合計: 6 名		台数: 1～2 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	有	前日仕込み所要時間		2.5	時間程度
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	前日15:00:00	15:00-17:30	13:20~14:05	0分	14:10~15:30	15時30分
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。						
本公演 実施可能日数目安 <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</small>	6月	7月	8月	9月		
	5日	0日	0日	10日		
	10月	11月	12月	1月		
	10日	0日	0日	20日		
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計	45日	
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真) ※採択決定後、図面等の提出をお願いします。						
	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館の舞台上ではなくフロアに舞台面を設置し、体育館内に仮設の劇場空間を作り上げる。 ・リノリウム（床材）を敷き、周りに持ち込みベンチを置く。観客数によっては、ベンチの内側に栈敷席を設置。 ・舞台に必要な広さは6m×6m。照明は座席の外側に設置するので、座席分+照明設置にプラス3m、舞台と客席を合わせて9m×9mの広さがあれば上演可能。 					
						
<ul style="list-style-type: none"> ・舞台と客席の距離が近く、出演者は観客とコンタクトをとり関係性をつくりながら物語を進めていく。 ・鳥にみたくて舞台面に設置された「箱」を開けていくと、中から海の旅を物語る仕掛けが現れる。 ・会場で出来る範囲の暗転を使用。 ・体育館公演では、照明スタンドと灯体を持ち込み設置。音響機材の使用はなし。 ・使用が可能な会場ではモークマシンの使用あり。 						
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続きの要否		該当あり	該当コンテンツ名	南こうせつ『海を渡る風』	
	該当事項がある場合	権利者名	JASRAC	許諾確認状況	採択後手続き予定	

別添	なし
----	----

【公演団体名 合同会社 絶対的 】

ワークショップのねらい	ダンス(身体表現)と小道具(工作)を使った本公演の性質をそのままワークショップに反映し、身体表現と工作を掛け合わせたワークを行います。複合的な要素で実施するため、身体表現もしくは工作のどちらかの得意不得意に左右されず、子どもたちがリラックスしてワークショップに参加できるようにします。グループ作業を通して子どもたち同士がアイデアを交換します。他者との協働作業を体験します。本公演と一緒に上演する場面を創作することで、作品のより深い理解を促します。		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	20名程度
ワークショップ実施形態及び内容	<p>【指導者】 ワークショップ主指導者:川口智子(『海のツブ』演出家) ワークショップ補助者:俳優・ダンサー等の2名を予定</p> <p>【概要】 身体表現と工作を使って、『海のツブ』の本公演で主演ダンサーとともに上演できる場面をつくります。短い時間を遊びながら子どもたちの創造性をのびのびと活かせるようなプログラムです。</p> <p>【内容】 1) シアターゲームを使って子どもたちとの関係性をつくりながらリラックスして参加できるように促します。 2) 簡単なワークから少しイメージを持つワークに切り替えていき、海の中の生物、特に深海にいるような海の生物がどのような動きをするかイメージを膨らませて、実際に動いてみます。 3) 小さなライト(LEDで熱くならない豆電球のようなイメージ)に鱗を模すなどした工作を施し、体にくっつけて動けるように工作します。 4) ライトをつけて、2)の動きが影になるとどのように見えるか工夫します。 5) ひとりひとりの動きに加えてみんなで大きな1匹の深海魚に見えるのにはどうしたらいいかを考えます。 6) 「だるまさんがころんだ」の要素を使いながら、本公演の中で主演ダンサーと実際にかけ合うための練習をします。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>指導者は小学校・中学校でのワークショップ実施の経験が豊富にあるため、人数、学年によって実施内容を適宜調整して対応します。基本的には実際に出演している場面を他の児童に見てもらっても大事だと考えているため、全校生徒の出演は考えていませんが、へき地の学校で全校児童の人数が著しく少ない場合にはその限りではありません。</p> <p>養護学校、支援校での実施については、学校と事前の打ち合わせを丁寧におこなった上で、児童のニーズ合わせた形で実施します。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名 合同会社 絶対的】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>1) 申請作品は言葉を使わずダンスと美術だけで物語を語っていく作品です。低学年の児童たちから中学生、また支援校の児童たちも楽しめるユニバーサルデザインをもつ作品になっています。</p> <p>2) 出演者は児童とコンタクトをとり、一緒に物語をつくるように進行します。児童が作品の中に引き込まれる演出であり、より深い鑑賞体験が得られる作品になっています。</p> <p>3) ワークショップの主旨指導者を演出家自らがつとめ、児童・生徒一人ひとりとのコミュニケーションを図ることで前述の趣旨・特徴をより確実に浸透させ、公演への参画へと促します。ワークショップではシアターゲームから導入し、場面の創作までを短い時間で実施し、事後子どもたちが遊び感覚で芸術に親しみ取り組める具体的な方法を提案します。</p> <p>4) 作品・運営ともコンパクトかつ即興性に富んでおり、各校の状況やニーズにできる限りの対応が可能。巡回公演事業の趣旨に応えることができます。</p> <p>5) ワークショップ指導者(=演出家)、出演者(=ダンサー・振付家)は現在国内外の第一線で活躍するアーティストであり、高品質で唯一無二の作品となっています。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>1) 舞台上で使用する機材・道具・客席はすべて持参し、搬出から設営、撤収までコンパクトに行える。また会場条件が異なっても同じクオリティーの高さを保つことができます。</p> <p>2) 演出家が同行し、各校の状況に応じてフレキシブルな演出を行うことができます。</p> <p>3) 出演者は即興の経験に富んでいるため、公演中の参加児童・生徒とのコミュニケーションを図りながら進行することができます。</p> <p>4) ワークショップと公演を内容面で連動させているために訪問者(出演者、ワークショップ指導者(=演出家)、スタッフ)がその双方に関わり、児童・生徒一人ひとりを把握しより効果的な事業展開に努めます。</p> <p>5) 上記を徹底して遂行するため、事前に各校からの状況聴取、要望とのヒヤリングを電話、電子メール等を利用し行うことでコミュニケーションを図ります。これまで制作団体が手掛けてきた国内外のツアー等の豊富な経験を活かし、各校の状況に寄り添った対応を心掛けます。</p>
--	--

別添	なし
----	----

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名 合同会社 絶対的】

C区分で事業を実施するに当たっての工夫	<p>①離島・へき地等における公演実績</p> <p>申請団体としての公演実績はないが、所属アーティストが委託されている作品への参加実績があります。 また、申請団体は国外での公演を含めた公演実績があるため、これまでの経験に基づいて離島・へき地での公演を円滑に行いたいと思っています。</p> <p>②離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫</p> <p>演出家が同行(ワークショップの主旨導者)するため、会場の条件に合わせて公演を調整することができます。 小人数および短時間での仕込み・撤収を安全に行うために、小規模公演用に組み立てが簡単な装置を持参します。 演出家は公演およびワークショップの経験が豊富です。子どもたち一人ひとりの状況をみて、コミュニケーションをとりながら事業を実施することができます。</p> <p>③C区分応募における、費用面の工夫</p> <p>移動・運搬の困難さを想定し、道具類は運搬に適したデザインでつくっています。出演者やスタッフの数を最低限にします。 出演者・スタッフは共に国内外での経験が豊富なメンバーである。限られた人数で、質の高い公演およびワークショップを実現します。 移動回数を少なくするため、公演当日にワークショップを行います。</p>
---------------------	---

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名	合同会社 絶対的 】
項目内容			
	<p>=初演時の観客コメント=</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちを巻き込んで楽しませる世界観がすばらしい ・間近でみたダンスの動きが凄い ・美術仕掛けが可愛らしくよく出来ていて、どんどん世界が広がっていくワクワク感が楽しい ・何が起きるのか予想もつかず、観客を巻き込んでの演出が新しく面白い ・観客との自然な即興的な関わり合いが作品になっていくのを、その場にいるみんなで共有することができ、心が温かくなりました。それがすべて美しい（光、音、ダンス、物、その調和）。ハッとしたり、笑ったり、耳をすませたりしながら一緒に海を冒険したような気持ちになりました。 		